TGR TEAM KeePer CERUMO

2026 AUTOBACS SUPER GT Report

MOTEGI GT 250km RACE

第3戦　モビリティリゾートもてぎ

KeePer CERUMO GR Supra

#38 大湯都史樹／小林利徠斗

◆11 月 7 日（日）　QUALIFY / RACE

予選結果　9 位

決勝結果　11 位（※暫定）



10 月 17 日（土）～18 日（日）にオートポリスで行われた第 7 戦では、惜しくも優勝には届かなかったものの 2 位を獲得し、第 1 戦以来の表彰台に沸いた TGR TEAM KeePer CERUMO。上り調子で迎えるシーズンフィナーレの舞台は、例年同様栃木県のモビリティリゾートもてぎ。ただ今季は延期となった第 3 戦がこの週末に組み込まれ、11 月 7 日（土）に第 3 戦の予選と決勝が、8 日（日）に第 8 戦の予選と決勝が行われる変則的なスケジュールとなった。

そんなもてぎでのレースウイークは、11 月 6 日（金）の午前 9 時 30 分から行われた専有走行でスタートした。KeePer CERUMO GR Supra は大湯都史樹からステアリングを握りコースインし、セットアップを確認。途中、小林利徠斗に交代しロングランの確認を行うプランを立てていたが、トラブルがあり連続でピットインを強いられることになった。その後ふたたび大湯に交代したが、1 分 37 秒 791 というベストタイムで 9 番手となった。

ただ、大湯は「昨年もポールポジションを獲得していますし、専有走行ではあまり良くない印象でしたが、戦い方は見えてきています」と翌日に予定された第 3 戦の公式予選に向けて展望した。

TGR TEAM KeePer CERUMO



一夜明けた 11 月 7 日（土）は快晴のもと午前 9 時 30 分から GT500 クラスの公式予選が行われた。今回は変則的な開催ということもあり、１名のドライバーのみが担当し 15 分間の計時予選を行うスタイル。気温 15 度／路面温度 18 度というコンディションのもと、KeePer CERUMO GR Supra は大湯がアタッカーを担当し、残り 10 分を切ってからコースイン。アタックを行っていった。チェッカーに向け大湯はタイムを上げていくと 1 分 37 秒 741 というベストタイムを記録したが、結果は 9 番手となった。

「昨日から大きく変えている部分もあるのですが、それすら分からないくらい、タイヤをしっかりと作動させることができませんでした。不完全燃焼に終わった予選になってしまいました」と大湯は予選後、悔しい表情を浮かべた。

チャンピオン争いの可能性も残している TGR TEAM KeePer CERUMO は、約 4 時間という短いインターバルで午後 2 時からスタートする決勝レースに向けて、９番手からジャンプアップするべく、できうる限りの作業を進めていった。



短いインターバルを経て、迎えた午後 2 時からの決勝レース。スタートドライバーを務めたのは、この日初めてのドライブとなる小林だ。専有走行ではなかなかロングランをうまく試すことができなかったが、気温 19 度／路面温度 22 度というコンディションのもと始まったレースでは、小林は 9 番手から#39 GR Supra と競り合いながら 2～4 コーナーでバトルを展開していく。ただ、その間隙を#23 Z NISMO GT500 に突かれ、KeePer CERUMO GR Supra は 11 番手でオープニングラップを終えた。また、この競り合いのなかで KeePer CERUMO GR Supra は空力パーツにダメージを負ってしまった。

TGR TEAM KeePer CERUMO

一方、レースはオープニングラップに GT300 車両の集団のなかで起きたアクシデントにより 8 周目までセーフティカーランとなったが、リスタート後も小林はなかなかペースを上げることができずにいた。ただ、前を争う 6 番手以下の集団が混戦だったこともあり、小林はなんとか前に食らいつきながらレースを進めていった。



18 周を終え、TGR TEAM KeePer CERUMO はミニマムで小林をピットに呼び戻し、大湯に追い上げを託した。序盤とは異なる種類のタイヤに履き替えた大湯は、ピットアウト後#17 HRC Prelude-GT や#19 GR Supra といった集団のなかで激しいバトルを展開したものの、その後はタイヤがなかなか機能せず、思うようにペースを上げられなかった。

レース後半、少しずつタイヤがパフォーマンスを発揮し出すと、37 周目に #19 GR Supra をかわし 12 番手に浮上するが、その後はペースこそ上がったものの順位向上はならず。KeePer CERUMO GR Supra は 12 位でチェッカーを受けた。レース後、 2 位の車両に失格裁定が下ったことから暫定で 11 位となったものの、それでも入賞には届かなかった。

今回の結果により、大湯都史樹／小林利徠斗のランキングは 6 位に後退。チャンピオンの可能性は限りなく少なくなったが、TGR TEAM KeePer CERUMO は 11 月 8 日（日）の最終戦での好結果を目指し、ペース改善に取り組んでいく。

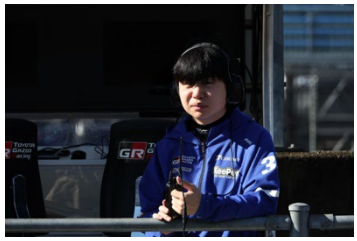
ドライバー／大湯都史樹



「レースでは後半スティントを担当しましたが、今回持ち込んでいるタイヤのうち、硬めのタイヤが思ったようなパフォーマンスを発揮できず、なかなかペースを上げることができませんでした。終盤でようやく機能を発揮してきたかな……というところでレースが終わってしまった

ような印象です。この SUPER GT は本当にシビアで、タイヤを機能させられないとペースも上げられません。公式予選ではまた別の要因もあったのですが、セットアップの兼ね合いもありペースが上げられなかったスティント前半～中盤でした。最初からペースがないと勝負ができませんし、それができたライバルチームが上位にいるということなので、読みなどの差があったと思います。この原因を明日までにしっかり見出したいですね。タイトル争いは厳しいですが、少しでも上位で終わりたいです。特に今年は優勝できていませんからね。今ある状況の中で最善を尽くしたいです」

ドライバー／小林利徠斗



「スタートからタイヤのウォームアップが難しく、また#39 GR Supra がアグレッシブにきたので、クルマもかなり接触でダメージを受けてしまいました。ただ、その後も接触関係なくあまり余力がなく、前についていけはするものの、攻めるレースにすることはできませんでしたね。加えて、僕のときは前についていけたものの、後半の大湯選手のスティントではかなりペースが苦しくなってしまいました。この点は明日に向けて必ず改善が必要だと思っています。今日は予選も決勝もいろいろな改善点があったレースだったので、シリーズは厳しくなってしまいましたが、明日に向けてしっかり改善し、１レースをしっかり走り切っていきたいと思います」

立川祐路監督



「公式予選から想定していたタイヤの内圧設定に苦しみ、きちんとタイムに繋げることができませんでした。その結果、グリッドが後方に沈んでしまい、決勝レースに向けてなんとか挽回したいとさまざまなトライを行ったのですが、レース序盤の競り合いのなかでエアロにダメージを負ってしまったところもありますし、ロングランのペース不足がありました。残念な結果となってしまいましたが、この結果を踏まえてしっかりと立て直したいと思います。今シーズンの最終戦でなんとしても良いレースを皆さんにご覧に入れられるようにしたいですね」

TGR TEAM KeePer CERUMO





KeePer FOR SMART CAR LIFE
GR TOYOTA GAZOO Racing
BRIDGESTONE
ZENT
PMU RACING PADS
ELK HOMES
トヨタカローラ山口
山口トヨペット
Felix88
SANKISHOKAI
VERTEX PARTNERS
asics
LaKeel
HYPER WATER
EW
HASSIN
エザキ
SONAX
Ice Water
ENKEI
TOYOTA TOKYO トヨタ東京自動車大学校
WELUKAN
MECHANIC WEAR
EXCEL

TGR TEAM KeePer CERUMO

予選結果表

Rank	Car No.	CarName	Time
1	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	1'36.572
2	16	#16 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	1'36.917
3	14	ENEOS X PRIME GR Supra	1'36.942
4	19	WedsSport BANDOH GR Supra	1'37.009
5	24	REALIZE CORPORATION Z	1'37.097
6	12	TRS IMPUL with SDG Z	1'37.242
7	36	au TOM'S GR Supra	1'37.404
8	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	1'37.418
9	38	KeePer CERUMO GR Supra	1'37.741
10	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	1'37.979
11	37	Deloitte TOM'S GR Supra	1'38.125
12	23	MOTUL Niterra Z	1'38.278
13	8	#8 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	1'41.582
14	17	Astemo HRC PRELUDE-GT	1'43.927

TGR TEAM KeePer CERUMO

決勝結果表

Rank	Car No.	CarName	Lap	Diff
1	12	TRS IMPUL with SDG Z	53	
2	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	53	24.076
3	8	#8 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	53	29.255
4	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	53	30.649
5	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	53	30.801
6	17	Astemo HRC PRELUDE-GT	53	35.443
7	23	MOTUL Niterra Z	53	39.298
8	16	#16 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	53	42.783
9	24	REALIZE CORPORATION Z	53	46.821
10	36	au TOM'S GR Supra	53	47.092
11	38	KeePer CERUMO GR Supra	53	48.520
12	19	WedsSport BANDOH GR Supra	53	1'42.124
	37	Deloitte TOM'S GR Supra	24	
	14	ENEOS X PRIME GR Supra		失格

※CarNo.14 失格「スキッドブロック規定」違反

TGR TEAM KeePer CERUMO

ポイントランキング

Rank	Car No.	CarName	Point
1	100	STANLEY HRC PRELUDE-GT	64
2	36	au TOM'S GR Supra	62
3	17	Astemo HRC PRELUDE-GT	50
4	12	TRS IMPUL with SDG Z	46
5	8	#8 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	45
6	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	44
7	38	KeePer CERUMO GR Supra	43
8	23	MOTUL Niterra Z	40
9	16	#16 ARTA MUGEN HRC PRELUDE-GT	38
10	14	ENEOS X PRIME GR Supra	31
11	37	Deloitte TOM'S GR Supra	26
12	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	18
13	24	REALIZE CORPORATION Z	17
14	19	WedsSport BANDOH GR Supra	8